

2章 道づくりの課題の整理 (11の課題)

ここでは、前章で整理した道路を取り巻く近年の状況や道路の現状を踏まえ、地域の課題を解決するための道路行政が取り組むべき11の課題を整理しました。

長崎県を取り巻く現状や問題

1-1 地域を取り巻く現状

- ・離島・半島地域が県土の約7割
- ・長期低迷する一人当たりの県民所得
- ・国内外の観光客の増加
- ・人口減少・少子高齢化の急速な進行
- ・都市部に立地する救急医療施設
- ・九州新幹線西九州ルートをはじめとしたプロジェクトの進展
- ・豊かな自然や多様な文化に培われた景観資源
- ・ICTなどの新技術の進展

1-2 道路交通の現状

- ・高規格道路・地域高規格道路に残るミッシングリンク
- ・高速交通ネットワークから取り残されている地域の存在
- ・災害リスクの高まりと増加する道路災害
- ・交通事故の増加と歩道未整備の通学路の存在
- ・未改良区間や渋滞による走行性の低下
- ・道路インフラの老朽化
- ・道路空間の利活用の状況
- ・ウィズコロナ時代において、再認識される物流網としての道路の必要性

地域の課題

1. 地域産業の低迷と新たな生活様式における物流需要への対応
2. 交流人口拡大に向けた既存の観光資源や各種プロジェクトの有効活用への対応
3. 頻発化・激甚化する自然災害から守る強靱な県土づくりへの対応
4. 交通事故による安全・安心な暮らしの阻害
5. 都市活動を阻害する都市部での交通渋滞への対応
6. 人口減少社会に対応した県土づくり(コンパクト・プラス・ネットワーク)
7. 救急医療サービスの格差
8. 進展するインフラの老朽化への対応
9. 進展する新技術の活用
10. 良好な都市環境づくりに対するニーズの多様化
11. 観光資源になりうる自然環境や長崎らしい景観の保全と活用

道路整備における課題

1. 地域産業や日常生活を支える物流の効率化
2. 人の広域的な移動を支える港湾、空港、新幹線駅の連携
3. 自然災害に脆弱な道路ネットワークの改善
4. 歩行者や通行車両の安全性の向上
5. 都市部における交通渋滞の改善
6. 拠点と周辺地域間の脆弱な道路ネットワークの改善
7. 半島部・離島部における救急医療施設への脆弱な道路ネットワークの改善
8. 限られた予算下での健全な道路ネットワークの機能維持
9. 道路交通分野への新技術の導入
10. 多様なニーズに対応した道路空間の創出
11. 自然環境や街並み景観への配慮